

(2) 教材曲・合奏曲の楽譜作成・整理

易しく取り組みやすい編曲を心がけた。同じ曲目でも演奏する子どもの力によっては、どんどん楽譜を書き換えた。練習するのが楽しく何度でも合奏したくなる曲。出来上がったときにはカッコよくスカッとするような曲。知らず知らずのうちに奏法が身に付くような曲・・・子どもたちに達成感を与えられる教材曲が必要である。

下記の曲は現在手書きで、ほぼ整理できている。教師の要請により、コピーを提供しているが、順次読みやすく分かりやすく書き換えていきたいと思っている。

・曲目と楽器編成

(数字はPart数)

曲目	箏	三味線	ウーダー S	ウーダー A	アコーディオン	鍵盤ハーモニカ	鉄琴	木琴	和太鼓	締太鼓	大鼓	小鼓	歌	その他 打楽器等
さくらさくら														木魚
うれしいひな祭り														"
花嫁人形														"
ないしょ話	2													
雨	2													
花かげ														
絵日傘														
こきりこ節														
荒城の月														
六段の調べより														
ずいずい ずっころばし(A)														尺八・こきりこ・ささら・巴太鼓・鉦・カウベル
荒城の月	2													" 虫笛
さくら	2													木魚・ウッドブロック・シンバル
あんたがたどこさ														木魚・鉦・巴太鼓
構成曲「雨」	2													木魚・ウッドブロック・御子鈴・豆うちわ
越後獅子(A)	2													木魚・木鉦・ウッドブロック・シンバル
～春のやよいの あけぼのに～越天 楽														鉦
元禄花見踊り	2													木魚・木鉦・ウッドブロック・シンバル・ソプラニーノ
京鹿子娘道成寺	2	2												木魚・木鉦・ウッドブロック
勸進帳(A)	3													" ソプラニーノ
操三番叟	3													" チャップ
ずいずい ずっころばし(B)	3													鉦
越後獅子(B)	3													ソプラニーノ
勸進帳(B)	3													ソプラニーノ
チャルタシュ	3													ティムパニ・シンバル・トライアングル・小太鼓

(太字はC D・V T R資料整理完了)

(3) 演奏の録音テープとVTRの整理 (H13.3 完了)

年度	CD	曲名	時間(分)	内容
平成 2	1	ずいずい ずっころばし		童歌に乗せて、身の回りにある、ありったけの打楽器を使った。メロディーの止まったところのソロは、楽器の音色にふさわしいリズムを子ども達が考えた。
	2	荒城の月		秋の風情や、さみしい城跡で過ぎた栄華をしのぶ気持ちを表そうと、小筆の竹で擬音用の虫笛を作って使った。
3	3	さくら		お花見の一日を表現した。春の日の夜明け、朝の光にひらひらと舞う桜。うきうきと楽しく花見に出かける気分を三拍子で。夜桜見物での花への名残惜しさを、六段のメロディーを重ねて演奏している。
	4	あんたがたどこさ		ナウいリズムでやってみたいと、歌をアフタービートで歌ってみた。打楽器は後で聞いてみると、チンドン屋さんのようだった。
4	5	構成曲「雨」		長唄「夜の雨」で始まり、「五月雨」の前弾きをバックに童謡「雨」のメロディーを重ね、雨の日のうっとりしい気分。やがて嵐の場面では、長唄「雨の四季」。雨上がりには再び長唄「夜の雨」の冒頭三味線のみで伴奏で斉唱した。
	6	越後獅子		できるだけ原曲に忠実にを目標に、奏法の難しい所は色々な楽器で助け合った。初めて締太鼓を使い、リズムは長唄の囃子そのままを使っている。
5	7	～春のやよいの あけぼのに ～ 越天楽		雅楽「平調越天楽」のそっくり演奏を目指した。楽琵琶には三味線を、笙や箏には鍵盤ハーモニカを代わりに使い。本当にそっくりな演奏が出来た。
	8	元禄花見踊り		よく知られた長唄「元禄花見踊り」のメロディーを中心に、囃子の早渡りや狂言鞆鼓のリズムも取り入れ、能管の代わりにソプラニーノリコーダーを使った。
6	9	ずいずい ずっころばし		この曲は練習が楽しく、人気がある。ソロのリズムは、改めて子ども達が創作したので前回と違っている。
	10	勸進帳		芝居の前ぶれの太鼓に始まり、「旅の衣は・・・」の謡がかり。寄せの合方、舞の合方。最後は、六法で花道を引っ込む場面を囃子のみで演奏している。
7	11	京鹿子娘道成寺		まりつき歌「道成寺」の輪唱を頭声発声で歌い、それに長唄のメロディーを重ねた。途中調子が変わるところは二種類の三味線を使って弾き分けた。
8	12	操三番叟		リズムやメロディーの繰り返しが多く、覚えやすかった。鼓の代わりにボンゴを使ったが、とても良く鳴り、小鼓を使ってみたいと思うようになった。
9	13	越後獅子		以前のものを土台に、唄も一部取り入れ、小鼓・大鼓・締太鼓を使った。
10	14	ずいずい ずっころばし		打楽器に小鼓・大鼓・締太鼓を使った。調子を一音下げて三味線の天神にかかる負担を軽くした。
	15	勸進帳		以前のものに小鼓・大鼓を加え、囃子のかけ声もさせてみた。
13	16	チャルダシュ		独特の音階を箏の調子にとり、やさしく弾けるよう工夫した。